

創世記64 創世記49章19節～33節

「ガド、アシェル、ナフタリ、ヨセフ、ベニヤミンの将来」

イントロ:

1. 文脈を確認する。

(1) エジプトに移住してからヤコブは17年間生きた。

(2) 死を前にヤコブは、息子たちの将来を預言する。

①創始者の性質が部族の性質となる。

(3) 預言の順番は誕生の順ではない。

①ジルパの2人の息子、ガド、アシェル

②ビルハの息子、ナフタリ

③ラケルの2人の息子、ヨセフ、ベニヤミン

(4) 預言の内容は2つである。

①土地の分割

②メシアの家系(ユダ族であることが預言された)

2. メッセージのアウトライン

(1) ガド(49:19)

(2) アシェル(49:20)

(3) ナフタリ(49:21)

(4) ヨセフ(49:22～26)

(5) ベニヤミン(49:27)

(6) ヤコブの死

3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

(1) 多様性と調和

(2) 世代を貫く目標

(3) 幸いな死

このメッセージは、信仰者の生き方を学ぶためのものである。

I. ガド(49:19)

1. 「ガドについては、襲う者が彼を襲うが、彼はかえって彼らのかかとを襲う」(新改訳)

(1) 言葉遊びがある。新改訳はうまく訳している。

(2) しかし、ガドは勇敢に立ち向かう。

2. ガドの領地はヨルダン川の東

(1) モアブ人、アモン人から襲われる。

(2) アモン人の王がガドの町々を支配した(エレ49:1)。

(3) ガドは勇敢な部族となる(申33:20)。

3. 新約聖書のイメージ

(1) クリスチャンの姿(ロマ8:37)。

II. アシエル(49:20)

1. 「アシエルには豊かな食物があり／王の食卓に美味を供える」(新共同訳)

(1) 物質的豊かさ(油ぎっている)。これはオリーブオイルのことである。

(2) 王の食卓にもそれが供される。生活を維持する通常食物ではない。

(3) 申33:24

「アシエルは子らの中で、最も祝福されている。その兄弟たちに愛され、その足を、油の中に浸すようになれ」

2. アシエルの領地は地中海沿岸沿い。

(1) 今でもこの地は、農地として優れている。

(2) 近年、アシエルの地に石油があると解釈する人がいるが、そうではない。

III. ナフタリ(49:21)

1. 「ナフタリは放たれた雌鹿で、美しい子鹿を産む」。あるいは、「美しいことばを出す」。

(1) 自由に動き回る。迅速な行動。

2. ナフタリの領地は山地。

(1) ガリラヤ湖の北の山地。

(2) 彼らは、山地を自由に移動する勇士たちとなる。

(3) 弁論が立つ民となる。

3. 新約聖書のイメージ

(1) イエスの弟子たちは、そのほとんどがガリラヤ人。

- (2) 彼らはかつてのナフタリの領地出身。
- (3) 自由を求めて移動する勇士となった。
- (4) キリストの福音を伝える使者となった。

IV. ヨセフ (49 : 22~26)

1. 「ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの実を結ぶ若枝、その枝は垣を越える」

- (1) 「実を結ぶ若枝」とは「豊かな実を結ぶ木の息子」。繁栄の約束。
- (2) 雨に頼らなくても、泉の水がある。
- (3) 枝は果樹園の垣を越えて広がる。

2. 過去の歩み

(1) 「弓を射る者は彼を激しく攻め、彼を射て、悩ました」

- ① 兄たちから責められた。
 - ② ポティファルの妻から憎まれた。
 - ③ パロの宮廷の魔術師や官吏から妬まれた。
 - ④ サタンから攻撃を受けた。
- (2) 「しかし、彼の弓はたるむことなく、彼の腕はすばやい」
- ① 敵の武器に対抗する武器を持っていた。信仰、誠実、正義、愛。
 - (3) 「これはヤコブの全能者の手により、それはイスラエルの岩なる牧者による」
 - ① 彼に勝利を与えたのは、神である。
 - ② 「ヤコブの全能者」：守り必要を満たす神。
 - ③ 「牧者」：ヤコブの神からメシアが出現する。

*ゼカ11章

*ヨハ10章

- ④ 「イスラエルの岩」：メシアは岩として表現される。

3. 将来の祝福

(1) 「あなたを助けようとされるあなたの父の神により、また、あなたを祝福しようとされる全能者によって」

- ① 「あなたの父の神」
 - ② 「全能者」
- (2) 3つの祝福
- ① 「上よりの天の祝福」：夏の間降りる夜露のこと。
 - ② 「下に横たわる大なる水の祝福」：泉の水のこと。
 - ③ 「乳房と胎の祝福」：子孫の祝福。

*マナセとエフライムが誕生した。

4. ヤコブの祝福を受ける者

- (1) ヤコブが神から受けた祝福は、アブラハムとイサクが受けたものよりも大きい。
- (2) ヤコブは12人の息子たちを祝福することができた。
- ①「永遠の丘のきわみにまで及ぶ」とは、祝福の大きさを表している。
- (3) そのヤコブの祝福が、ヨセフの頭上にある。
- ①長子の権利はヨセフに移った。

V. ベニヤミン (49:27)

1. 「ベニヤミンはかみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける」

- (1) 好戦的な性格。勇士となる部族。

2. ベニヤミン族出身の者

- (1) 士師のエフデ (士3:15~30)
- (2) サウル王
- (3) ヨナタン
- (4) モルデカイとエステル
- (5) 使徒パウロ (ロマ11:1~2)

VI. ヤコブの死 (49:28~33)

1. おのおのにふさわしい祝福を与えた。

- (1) ルベン、シメオン、レビでさえも祝福からもれることはなかった。

2. 死の予感と希望

(1) 「私は私の民に加えられようとしている」

- ①死後の命への希望
- (2) 遺体の埋葬に関する指示
- ①マクペラの墓地
- ②アブラハムとサラが葬られている。
- ③イサクとリベカも葬られている。
- ④ヤコブはレアを葬った (ラケルは別の墓に葬られた)。

3. 幸いな死

- (1) 自分の死の瞬間を選んだかのようなようである。

結論：このメッセージは、信仰者の生き方を考えるためのものである。

1. 多様性と調和

- (1) 12部族の多様性と調和
- (2) クリスマスの多様性と調和（I コリ 12：12～13）
- (3) 賜物を生かして仕えあう祝福

2. 世代を貫く目標

- (1) ヤコブの子孫の将来は、エジプトではなく、カナンの地にある。

①これは、世代を超えた民族の希望である。

②今日のイスラエル建国にまでつながる希望である。

- (2) 信仰の継承の土台となるのは、世代を貫く目標があるということである。

3. 幸いな死

- (1) すべての業を終えた。
- (2) 子孫の将来について確信を得た。
- (3) 死後の命の希望を見た。